（様式第２号－１）

　　年　　月　　日

「○丁目」は漢数字、「〇番〇号」は算用数字（アラビア数字）とし、住所は正式な住居表示でご記載ください。

大阪府知事　様

住　所　**大阪市住之江区南港北一丁目14番16号**

団体名　**○○○○実行委員会**

代表者　職・氏名　**会長　大阪　太郎**

**令和６**年度　大阪府芸術文化振興補助金交付申請書

**令和６**年度において、標記の補助金を下記のとおり受けたいので、大阪府補助金交付規則第４条及び大阪府芸術文化振興補助金交付要綱第８条第１項の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金交付申請額 | 金　**1,000**千円 | |
| 補助事業名 | **○○○○○○** | |
| 補助事業完了  予定年月日 | **令和〇年〇月〇日** | |
| 補助事業の目的 | **青少年に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、 ○△市の文化振興及び次世代育成を図る。** | |
| 補助事業の効果 | （事業実施や事業目的を達成することによる、当該分野や社会・地域への波及効果について詳細に記載）  **（例）○△市と協力して、市内中学校５校の中学２年生を招待し、中学生という多感な時期に、プロによる優れた芸術文化に触れる機会を提供し、成長の一助とすることができる。** | |
| 補助金獲得による事業への効果 | （事業実施や事業目的を達成することによる、当該分野や社会・地域への波及効果について詳細に記載）  **(例)・補助金を獲得することで、入場料を安価に設定できるようになる。**  **・補助金を獲得することで、小道具により費用をかけられるため、作品の質が上がる。** | |
| 補助事業の内容 | （実施時期、実施回数、プログラム等、主なアーティスト及びその人数など）  **令和６年７月２０日（土）　昼・夜各１回　演目○○　出演者○○、○○　他△名** | |
| （実施会場・のべ観客（参加）者数）  **○△市文化会館　　観客のべ　○○名** | |
| （事業の中核を担う人物(プロデューサーなど)の経歴を詳細に記載）  **○○氏**  **○△大学舞台芸術学科卒業後、劇団△△に所属。 舞台××にて舞台監督デビューし、徐々に頭角を現す。平成○年発表の舞台□□で好評を博し、文化庁■■賞を受賞。その後さまざまな作品で話題を呼ぶ。**  **（主な作品）**  **平成　　年　　AAAA**  **平成　　年　　BBBB**  **:**  **令和　　年　　HHHH** | |
| （障がいの有無、国籍、経済的状況などにかかわらず、誰もが参加、鑑賞しやすい合理的な配慮について詳細に記載）  **・若者を中心に多くの観客を呼び込むため、安価な学生券を設定。**  **・ホームページ、SNS、メールマガジン等を駆使した広報・営業活動。**  **・ホール内に身障者用トイレおよび座席有り。** | |
| （他団体との連携について詳細に記載）  **芸術系の大学と連携し、学内だけでなく関係施設へも広報。また、□□大学には稽古場所の提供を頂く。** | |
| （上記のほか、特に斬新性・新規性が高く、他の団体のモデルとなる等の波及効果が期待できると認められる場合は、その内容を詳細に記載） | |
| 補助期間終了後の  事業展開 | （翌年度の事業展開について詳細に記載）  **この演目の続編を公開し、当団体の看板作品としての知名度向上とクオリティの上昇を目指す。** | |
| （翌々年度以降の事業展開について詳細に記載）  **実績を重ね、補助金に頼らずに運営できる団体を目指し、ゆくゆくは海外公演等も行ってまいりたい。** | |
| 補助事業の経費のうち補助金によって賄われる部分以外に関する事項 | 負担者 | **○○○○実行委員会** |
| 負担額 | **7,226,000円** |
| 負担方法 | **入場料収入 1,790,000円**  **広告料 600,000円**  **プログラム売上代 250,000円**  以下の説明を読んでからご記入ください。  **協賛金 300,000円**  **助成金 300,000円**  **自己負担 3,986,000円** |

※「負担額」の算出方法及び「負担方法」の記入について

・　負担者は、交付を申請する団体名、実行委員会名等を記入

・　負担額は、補助事業収支予算書（様式第２号－２）の支出の計（補助対象経費と補助対象外経費の合計）－　補助金交付申請額（内定額）

・　負担方法は、補助事業収支予算書（様式第２号－１）の収入科目欄に記入される項目と金額を記入ください。ただし、自己負担額から補助金交付申請額を引いてください。

1. 入場料収入等がある場合の記入例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助事業の経費のうち補助金によって賄われる部分以外に関する事項 | 負担者 | ○○○○○事業団（交付を申請する団体名、実行委員会名等を記入） |
| 負担額 | ￥○○○，○○○ |
| 負担方法 | ①入場料収入　A円  ②協賛金　　　B円  ③自己負担　　C円 |

※　負担額の欄は、負担方法のA円＋B円＋C円の合計金額をご記入ください。

※　負担方法の欄は、補助事業収支予算書（様式第２号－２）の収入の科目欄に記入される項目（上記の記入例の場合、入場料収入、協賛金）と金額を全てご記入ください。

また、同予算書の団体自己負担金の金額から交付申請書（様式第２号－１）の補助金申請額を差引いた金額を「自己負担」とし、金額C円をご記入ください。（団体自己負担金－補助金申請額＝C円）

1. 入場料収入等がない場合の記入例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助事業の経費のうち補助金によって賄われる部分以外に関する事項 | 負担者 | ○○○○○事業団（交付を申請する団体名、実行委員会名等を記入） |
| 負担額 | ￥○○○，○○○ |
| 負担方法 | 自己負担　D円 |

※　負担額の欄は、負担方法のD円と同額をご記入ください

※　負担方法の欄は、補助事業収支予算書（様式第２号－２）の団体自己負担金の金額から交付申請書（様式第２号－１）の補助金申請額を差引いた金額をご記入ください。（団体自己負担金－補助金申請額＝D円）